

## 「エースと呼ばれる人は何をしているのか」を読んで

今回、この本を手にとって読み始め、ワクワクした方。私も一緒です。

モー娘。全盛期を青春と共に過ごし、AKBを全力で完コピしようとした私にとって、読めば読むほど先が見たくなる、そんな本でした。

アイドルと今の自分と比較するなんてこと、絶対ありえないと思って居たけれど、私が夢中になっていた彼女たちがどんなことを考え、どんなことを実践してきたのか。著者夏さんの例えがとてもわかりやすく、また辛辣な意見にドキッとさせられました。

私は、知らず知らずのうちに、本書の中にもある間違っただのエースのというイメージに、支配されてしまったのだなあ。とつくづく感じました。

数字が取れなきゃエースじゃない。台数売らなきゃエースじゃない。あの子より売れないから、勝てない。エースにはなれない。

そんな凝り固まった勝手なイメージに支配されて、勝手に落ち込んで居たなど。

でも、夏さんの言葉1つ1つを受け取っていく内に、私にも自分で生き生きできて、誇れる瞬間があるのだと気付きました。

私のメンターは、知識が豊富で、いつも冷静に相手を見ることができる方。きちんと知識を自分のものにするために、調べ物や情報の収集を怠らない方。そして、私のことを理解してくれる方でした。

私もこんな先輩になりたい。認めてもらいたい。そう思って過ごしてきました。

いざ自分のメンティーが出来た時、この子にも私が受けた愛情を、教えを、しっかりと繋いで行こう。そう思い、全身全霊育てていきました。

「色々なことに気づく子になってほしい」一番の思いを芯に持ち、沢山のことを伝えました。沢山の悩んだし、伝え方・モチベーションの上げ方、沢山の課題はありましたが、もともと素敵な子だったため、ぐんぐん吸収していってくれました。

次第に、同じキャストの先輩方からも、沢山の褒めてもらっているのを見て、「さすがあなたの教え子だね」そう言って私にまで声をかけてくれることが、何よりも幸せだと感じました。

直接、台数や販売という数値ではなくとも、そうやって思いが色々な形に形になっていく時、私はとても楽しかったし、わくわくしていたのです。

そして最近、メンティーの彼女が、三年たった今でも、私から褒められることがモチベーションなのだと教えてくれました。

とても幸せな気持ちになりました。私が彼女に向き合ったように、彼女から沢山のことを教えてもらい、共に育って行けたこと。確実に私を大きく成長させてくれたこと。

そして共にお店を支えるキャストとして、目標を目指して行けること。

私だって、こうやって思いを繋いでいくことに対して、誇りと自信を持ってやり遂げることができるのに、自分より販売をする子に勝手な劣等感を感じて、変に遠慮していたなあと。

本を読み終えた今、いかに自分自身が、凝り固まった考えに囚われていただけなのかと、反省しました。

悪いプライドと、意地も相まって、ぐずぐずしていたものが、すっと晴れて行く様な気がしました。

エースの意味を履き違えず、私だってやってやります。